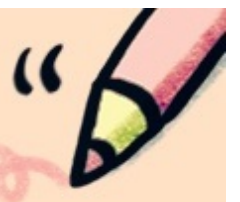




よんで、あつて、あそぶるえほん



さくらにだっこ



”

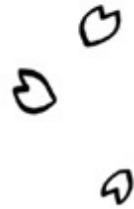
さく・つつきん え・いせきあい



よんで。おて。あそべるえほん

さくらにたっこ

さく・つつきん え・いせきあい





ちいさな みどりいろのかえるが じめんから かおをだしました。

あたりを きよろ きよろ

「おはよう かえるくん。いいてんきだね。」

かえるがかおをだしたところは ちょうどさくらの きの ねもと。

まだ えだばかりのさくらのきが こえをかけてくれたのでした。

「はああ。」

かえるは ながあい ためいきをつきました。

なんだかとってもわけがありそうです。

「どうしました？」

「あのね、はるだからって じめんからでてきたけど
ドキドキが とまらないんだ。からだが はれつしそうだよ。」
「それは たいへん！そのドキドキ わたしが もらいましょう。」

「え？どうやって？」

「どうぞ わたしに だきついて」

かえるは ぴったりと さくらのふといみきに だきつきました。



ほ・・・

さくらはなが ひとつ ひらいたよ・・・

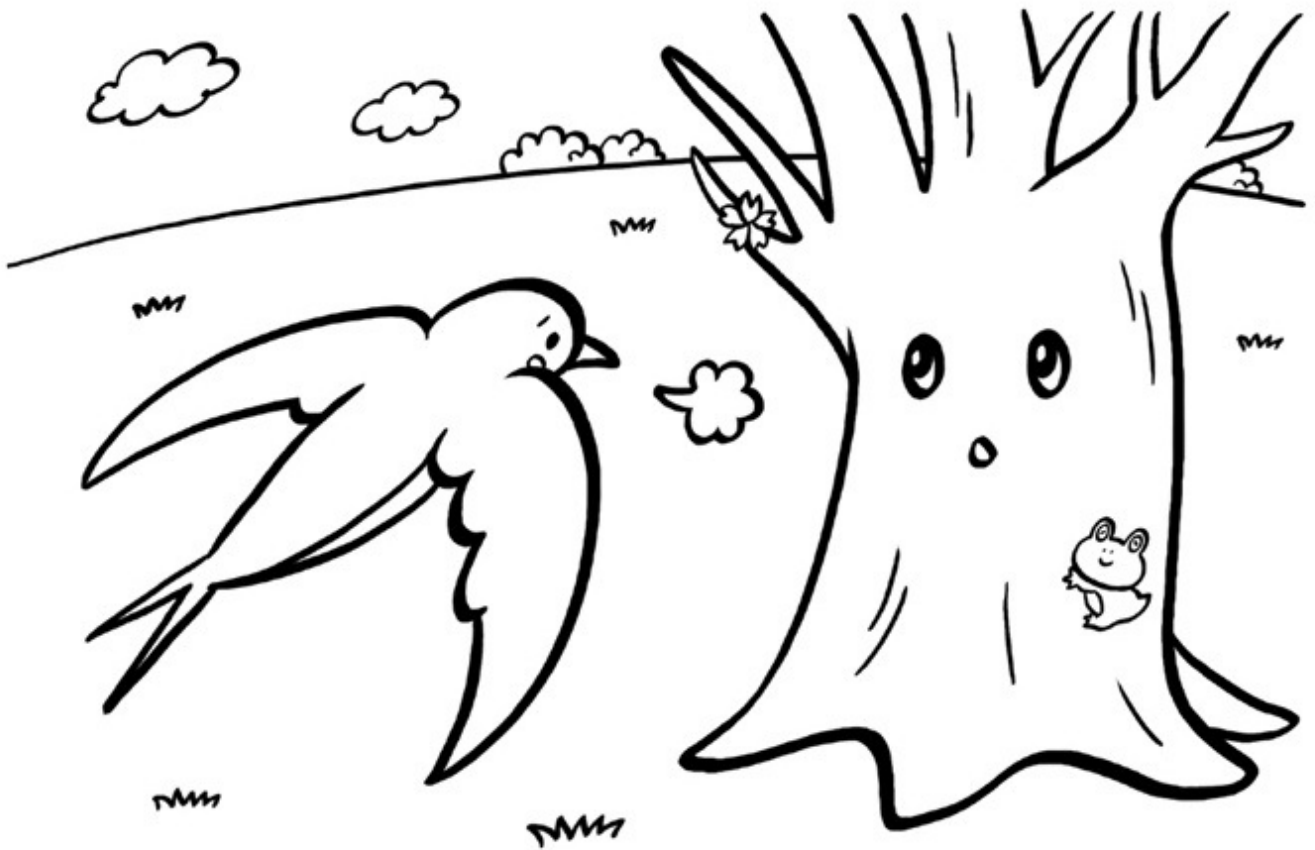
おや、また だれか きましたよ。

わかものの つばめが いちわ とぼとぼと。

「はああ。」

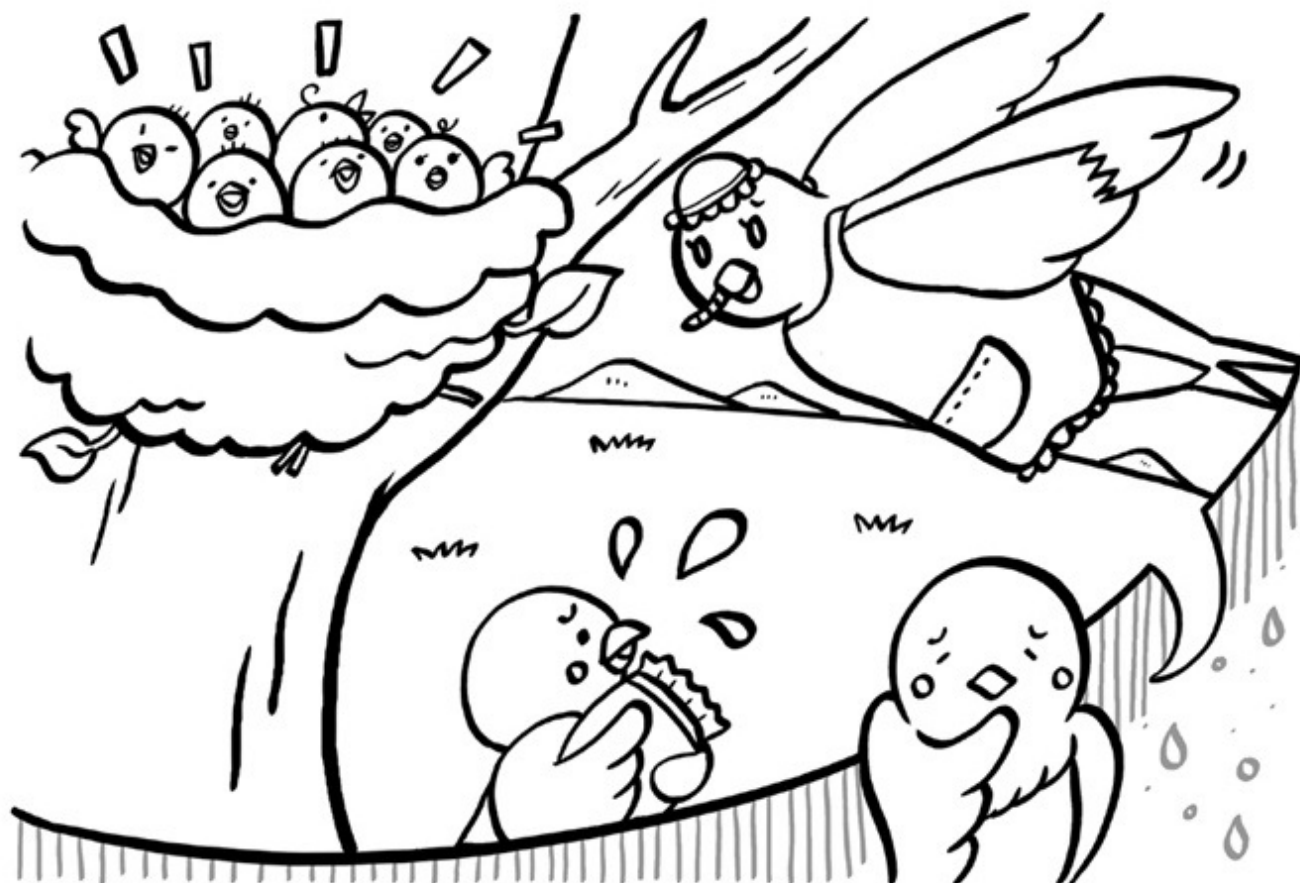
つばめも ながあい ためいきをつきました。

こちらもなんだか わけがありそうです。



「どうしました？」

さくらのきが こえを かけました。



「もうおおきくなったから じぶんで すをつくりなさいって
おかあさんと はなれたのだけど、
いったいぜんたい どうしたらいいのっておもったら ドキドキしちゃう」
「それはたいへん！そのドキドキ わたしが もらいましょう。」
「え？どうやって？」
「どうぞ わたしに だきついて」

わかものつばめも ぴったりと さくらのふといみきに だきつきました。

ぽ・・・

さくらはなが またひとつ ひらいたよ・・・



おや、また だれか きましたよ。

2ひきのこいぬをつれた おかあさんいぬ。

こいぬは しっぽふりふり おかあさんのあとを ついていきます。

「はああ。」

おかあさんいぬは おおきくて ながあい ためいきをつきました。

またまた なんだか わけがありそうです。

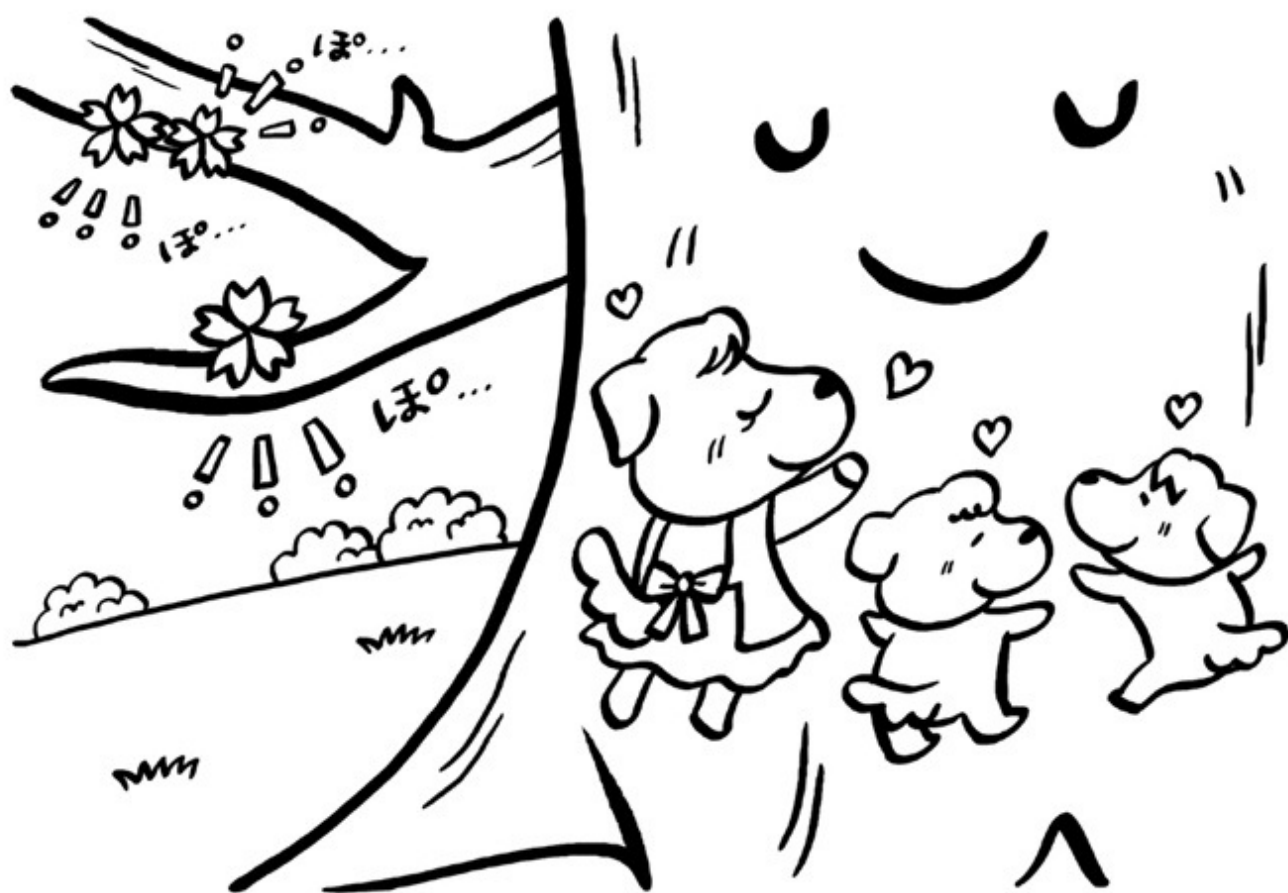
「どうしました？」

「2ひきの こいぬがうまれたけど けがをしないか びょうきをしないか
それはドキドキ ドキドキするのです。」

「それはたいへん！そのドキドキ わたしが もらいましょう。」

「え？どうやって？」

「どうぞ わたしに だきついて」



おかあさんいぬも ぴったりと さくらのふといみきに だきつきました。
2ひきの こいぬも まねっこして さくらのふといみきに だきつきました。

ほ・ほ・ほ・・・

さくらはなが ひとつ、ふたつ、みっつ ひらいたよ・・・

おや、また だれか きましたね。

ピカピカのランドセルをしょった おんなのこ。

「くすん くすん」

なみだが すこし あふれています。

「どうしました？」

「がっこうは しらないひとと しらないことばかりで

まいにちまいにち ドキドキしてめがまわりそう。」

「それはたいへん！そのドキドキ わたしが もらいましょう。」

おんなのこも ぴったりと さくらのふといみきに だきつきました。

ぽ・ぽぽぽ・・・

さくらはなが ぽぽぽ と ひらいたよ・・・



おやおや、こんどは だれかしら？

おや、このせいふくは おまわりさん。

「はああ。」

おまわりさんは ずいぶん おおきな ためいきを つきました。

「どうしました？」

「おまわりさんになりたてのほやほやで ドキドキ ドキドキ するんです。」

「じゃあ、そのドキドキ わたしが もらいましょう。」

おまわりさんも ぴったりと さくらのふといみきに だきつきました。

ぽ・ぽぽぽぽぽ・・・

さくらのはなが ぽぽぽぽぽ と ひらいたよ。

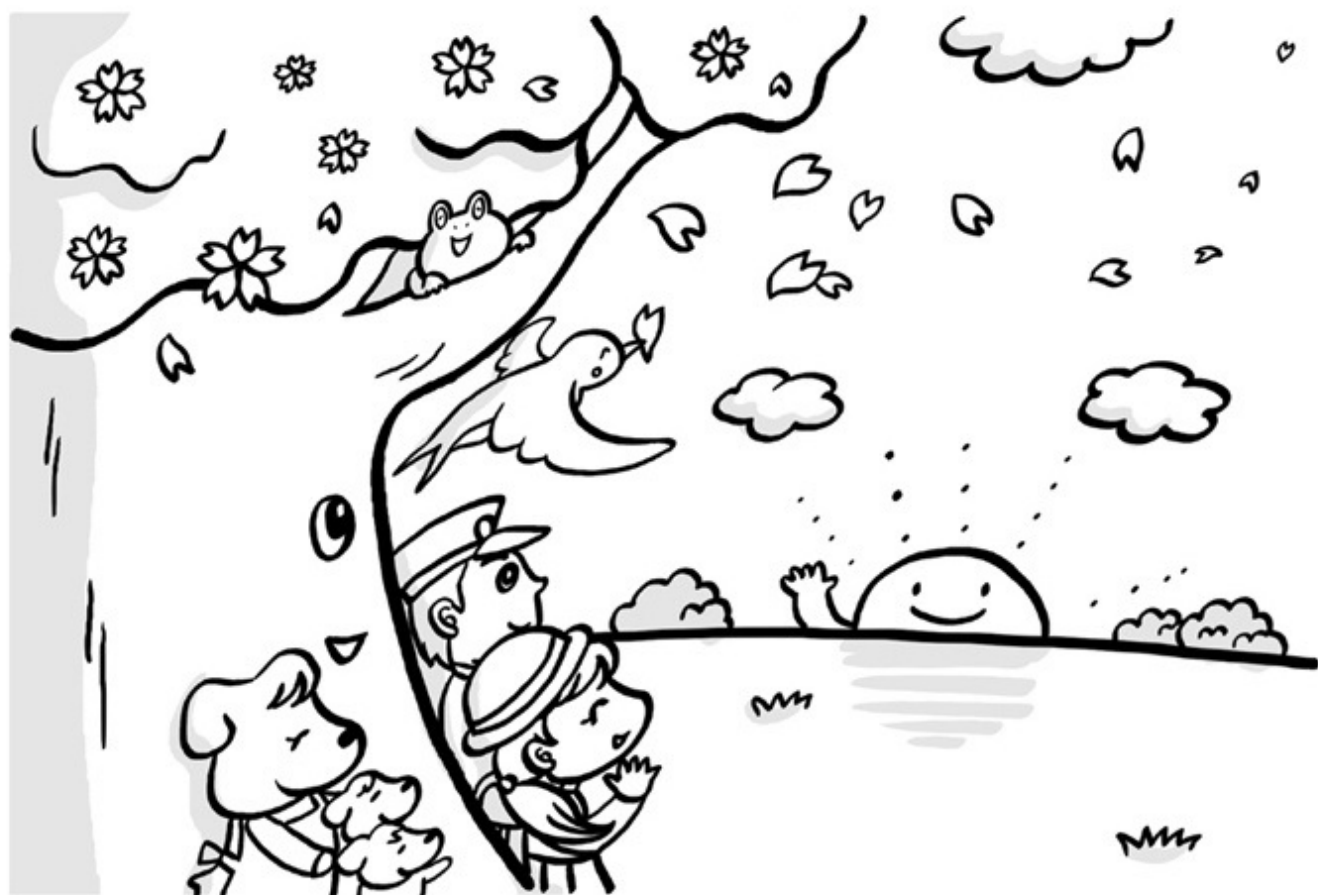


かえるに、つばめに いぬのおやこに おんなのこに おまわりさん
さくらのふといみきに ぴったり だっこ



さくらのきが あかるいこえで いいました。
「さあ、みなさん みていてね！ いち にの さーん！」

すると じめんから むくむくちからが わいてきて
みんなが そのちからに つられるように うえをみあげると
まんかいになった さくらはなのはなびらが
ぶわーっと はじけるように そらへと まいあがりました。



かえるも つばめも いぬのおやこも
 おんなのこも おまわりさんも
 めをまんまるくして さくらはなびらが くるくるおどりながら
 とおくへ とおくへ とんでいくのを みおくりました。

「わあ！すごーい！ きれいだねー！」

いつのまにか みんなのかおは にっこにこ。
 そらには やさしい ゆうやけぐも。

そろそろ おうちへ かえりましょ。

おしまい

【ぬりえ絵本のコト。】

読む楽しみ、聞く楽しみ、見る楽しみ、めくる楽しみ。
絵本にはたくさんの楽しみがあります。
その絵本の楽しみをさらに広げたいという思いと、
描くこと、めくることは小さなお子様方の指先を使う
トレーニングにもなるという視点からこのぬりえ絵本が
誕生しました。

感じた色を心のままに直接絵本に彩ることで、より絵本
の世界を冒険できると思うのです。
まるで、自分もその絵本の中に入り込んだかのように。

この絵本は、東日本大震災チャリティ活動の一環として
電子書籍化しました。多くの子供達がこのぬり絵を楽し
んで、遊んでくれますように。



さくらにだっこ

2011年4月3日 電子書籍発行

作：つっきん
絵：いせきあい

(C)2011 TSUKKIN・AI ISEKI, Printed in JAPAN

本書の無断転用・転載は禁じられています。

【作者紹介】

- ・おはなし担当：つっきん
童話作家。HP「つっきんの童話屋さん」において
数多くのお話を掲載中。
<http://www.tukkin.net/>
- ・イラスト担当：いせきあい
イラストレーター。「えがお、つながる。」を
コンセプトにした優しい絵が特徴。
HP「Ai's EYES」<http://isekiai.jimdo.com/>